

科目	考究現代文		単位数	2	授業時間 [総時数]	55分 [64回]	学 年	3	学 科	普通科 理数科
使用教科書	高等学校 論理国語 (第一学習社) 高等学校 文学国語 (第一学習社)		副教材等		『大学入試に出た核心漢字 2500+語彙 1000』(尚文出版)、 その他各種問題集、自主教材					
学習の目標	近代以降の様々な文章を読み的確に理解するとともに適切に表現する能力を育む。また、文学的文章と論理的文章を結びつけて読み比べることで、ものの見方、感じ方、考え方を深め、国語力の向上を図り、人生を豊かにする態度を養う。									
具体的な 取り組み・ 指導上の 注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字力・語彙力の向上に努めること。 ・文章の読み方や問題への対処法について確実に身につけること。特に復習が重要である。 ・書いたり話したりして、表現しようとする姿勢が重要である。諦めてはいけない。 ・主体的・積極的に取り組む姿勢が重要である。受動的ではいけない。 									
月	単元名	指導目標	学習内容			備考(使用教材)			時数	
4 5 6	評論1 小説1 評論2	<ul style="list-style-type: none"> ・的確に読解する力を付ける。(全単元) ・自らの意見を効果的に表現する力を付ける。(全単元) 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成、展開、要旨を的確に捉える。(全単元) ・細部の表現に注目し、どのようなことを言っているか(評論分野)、またはどのような心情が述べられているか(小説分野)を的確に捉える。 ・自分の立場や論点を明確にして、意見を書く(評論分野)、または感想や意見を述べ合う(小説分野)。 			<ul style="list-style-type: none"> ・「真珠の耳飾りの少女」(原田マハ) ・「言語と記号」(丸山圭三郎) ・「スペインタイルの家」(木内昇) 			15	
第1回考査										第1回考査
6 7 8 9	評論2 随想 評論3	<ul style="list-style-type: none"> ・的確に読解する力を付ける。(全単元) ・筆者の見解を応用する力を付ける。(全単元) ・言外の条件を踏まえて解釈を深める力を付ける。(随想) 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成、展開、要旨を的確に捉える。(全単元) ・筆者の見解を踏まえて具体的事象について分析する。(全単元) ・作品の成立した背景などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深める。(随想) 			<ul style="list-style-type: none"> ・「リスク社会とは何か」(大澤真幸) ・「鏡の中の現代社会」(見田宗介) ・「クレールという女」(須賀敦子) 			16	
第2回考査										第2回考査
9 10 11	評論3 小説2 総合1	<ul style="list-style-type: none"> ・的確に読解する力を付ける。(全単元) ・他の資料等を読み比べる力を付ける。(全単元) ・ものの見方・考え方を豊かにする。(小説分野) ・問題演習に取り組む国語の総合力を養う。(総合分野) 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成、展開、要旨を的確に捉える。(全単元) ・関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら内容の解釈を深める。(評論・小説分野) ・小説で描かれた内容を自分に引きつけて考えるとともに感想を伝え合う。(小説分野) ・記述問題演習に取り組む。(総合分野) 			<ul style="list-style-type: none"> ・「社会の壊れる時」(鷲田清一) ・「舞姫」(森鷗外) ・各種問題集 			15	
第3回考査										第3回考査
12 1 2	総合2	<ul style="list-style-type: none"> ・問題演習に取り組む国語の総合力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・記述問題演習に取り組む。 ・共通テスト型の問題演習に取り組む。 			各種問題集			15	
評価規準	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度				
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけようとしている。		論理的思考力や想像力、創造力を養い、社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。			言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉の持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。				

評価方法	定期考査、課題テスト、小テスト等を総合的に判断し評価。	定期考査、課題テスト、課題プリントや授業への取り組み等を総合的に判断し評価。	課題等の提出、課題プリントや授業への取り組み等を総合的に判断し評価。
------	-----------------------------	--	------------------------------------

科目	考究古典		単位数	3	授業時間 [総時数]	55分 [96回]	学年	3	学科	普通科(学 際コース)	
使用教科書	高等学校 古典探究 古文編 高等学校 古典探究 漢文編	副教材等	新修古典文法(京都書房)、精説漢文(いいずな書店)、読んで見て覚える重要古文単語315(桐原書店)、その他自主教材、各種問題集								
学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、日本の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 										
具体的な 取り組み・ 指導上の 注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・文法・句法力の向上に努めること。 ・単語・語彙力の向上に努めること。 ・主体的・積極的に取り組むこと。 ・多様な文章に触れ、読み慣れること。 ・探究的な学びを意識すること。 										
月	単元名	指導目標	学習内容			備考(使用教材)	時数				
4 5 6	[古文] 説話 日記 軍記 物語 [漢文] 諸家の 文章	<ul style="list-style-type: none"> ・古典を読むための基礎知識を身につけ活用する力を付ける。(全単元) ・日記文学や軍記物語を読む楽しさを感じる。(古文分野) ・随想的な文章を読んでさまざまな見方、考え方に触れる。(漢文分野) 	<ul style="list-style-type: none"> ・仏教説話に取り上げられた人物の論理と行動を読み解き、編者が語り伝えようとした価値について考察する(古文分野) ・日記文学や軍記物語を読み、作者の境遇や出来事、心情を的確に捉え、作者のものの見方、感じ方、考え方を理解する。(古文分野) ・和歌についての理解を深める。(古文分野) ・文章の構成や展開を理解し、論旨を的確に捉えるとともに文章に表れた生き方・考え方について、意見や感想を述べ合う。(漢文分野) 			<ul style="list-style-type: none"> ・「なげきつつひとり寝る夜」(蜻蛉日記) ・「叡実、路頭の病者を憐れむ事」(発心集) ・「夢よりもはかなき世の中」(和泉式部日記) ・「忠度の都落ち」(平家物語) ・「漁夫辞」(楚辞) ・「五柳先生伝」(陶淵明集) 	23				
第1回考査							1				
6 7 8 9	[古文] 物語1 評論1 評論2 近世 の文章 [漢文] 逸話 漢詩	<ul style="list-style-type: none"> ・古典を読むための基礎知識を身につけ、活用する力を付ける。(全単元) ・源氏物語を読む楽しさを実感する。 ・近世の評論を読み、作者の主張を的確に把握し、古人の見方や感じ方、考え方を理解する。(以上、古文分野) ・賢者や知者にまつわる逸話を読み、登場人物の論の巧みさを読み取る。 ・古体詩を読み味わう。(以上、漢文分野) 	<ul style="list-style-type: none"> ・場面設定や自然描写に着目しながら登場人物の心情を捉え、源氏物語の世界を読み味わう。(古文分野) [活動] 源氏物語が影響を受けた作品、影響を与えた作品を挙げて、源氏物語の魅力について考える。 ・歌論を読み、論旨を的確に捉えるとともに、和歌に対する古人のものの見方や感じ方、考え方について、意見や感想を述べ合う。(古文分野) ・登場人物の行動や心情を捉え、人間の生き方について考え、意見交流をする。(漢文分野) ・古体詩を読み、情景や心情を味わう。(漢文分野) 			<ul style="list-style-type: none"> ・「母と子の別れ」(源氏物語) ・「葵の上の出産」(源氏物語) ・「深草の里(無名抄) ・「兼好法師が詞のあげつらひ」(玉勝間) ・「浅茅が宿」(雨月物語) ・「不顧後患」(説苑) ・「不若人有其宝」(新序) ・「行行重行行」(文選) ・「責子」(陶潜) ・「石壕吏」(杜甫) 	23				
第2回考査							1				
9 10 11	[古文] 物語2 [漢文] 諸家の 思想	<ul style="list-style-type: none"> ・人物を整理しながら、話の流れを理解する。(全単元) ・源氏物語を読む楽しさを実感する。(古文分野) ・諸子百家の文章を読んで、古代中国思想について理解を深める。(漢文分野) 	<ul style="list-style-type: none"> ・場面や人物の設定に着目しながら、登場人物の行動や心情を捉える。(古文分野) ・文学史を理解した上で、文法、内容や表現の特色を理解する。(古文分野) ・諸子百家の文章から、古代中国の時代背景や思想について考えるとともに、現代の状況や価値観と比較して、人間のあり方について考えを深める。(漢文分野) 			<ul style="list-style-type: none"> ・「三舟の才」「菅原道真の左遷」(大鏡) ・老子「小国寡民」(第八十章) ・孟子「性善」(告子上) ・韓非子「侵官之害」(二柄) 	23				
第3回考査							1				
12 1 2	総合②	総合②	<ul style="list-style-type: none"> ・問題演習に取り組み国語の総合力を養う。 			<ul style="list-style-type: none"> ・記述問題演習に取り組む。 ・共通テスト型の問題演習に取り組む。 	23				
評価規準	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度					

	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、わが国の伝統的な言語文化に対する理解を深めようとしている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典を通じた先人の見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め自分の思考を広げたり深めたりしようとしている。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、古典に親しみ自己を向上させ、わが国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
評価方法	定期考査、課題テスト、小テスト、探究のレポート・発表等を総合的に判断し評価。	定期考査、課題テスト、課題プリントや授業への取り組み、探究の内容等を総合的に判断し評価。	課題等の提出、課題プリントや授業への取り組み等を総合的に判断し評価。

令和6年度シラバス【 発展現代文（文系選択） 】

長野県伊那北高等学校

科目	発展現代文 (普通科)	単 位 数	2	授業時間 [総時数]	55分 [64回]	学 年	3	学 科	普通科
使用教科書	国語表現 (東京書籍)	副教材等		各種問題集など					
学習の目標	近現代の様々な文章を読んだり、現代社会に関する様々な資料を比較・検討したりする活動を通じて、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。								
具体的な 取り組み・ 指導上の 注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な文章を主体的・協働的に読み、現代文に親しみ、考える。 ・様々な文章を読んだり、資料を読み比べたりして、課題を発見・解決し、他者が理解できるように発表する。 ・書いたり話したりして、表現しようとする姿勢が重要である。諦めてはいけない。 ・主体的・積極的に取り組む姿勢が重要である。受動的ではいけない。 								
月	単元名	指導目標	学習内容		備考（使用教材）			時数	
4	分かりやすく 説明しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・的確に読解する力を付ける。(全単元) ・筆者の見解を応用する力を付ける。(全単元) ・目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現を使う力を付ける。(全単元) 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真や図表を用いて、他者に明確かつ簡潔に情報を伝える方法について考察する(分かりやすく説明しよう) ・様々な設定の場면을演じる活動から、言葉によらない身体表現の特徴と効果を理解する。(身体で表現しよう) ・インタビューの方法を学び、適切な「問い」の設定の仕方について正しく理解する。(問いを考えよう) 		<ul style="list-style-type: none"> ・「『対話』してますか」(平田オリザ) ・「みんな知ってる、みんな知らない」(角田光代) ・「インプロの魅力」(高尾隆) ・「よい質問とは」(野矢茂樹) 			15	
5	身体で表現しよう								
6	「問い」を考えよう								
第1回考査									1
6	「自分」を表現しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・的確に読解する力を付ける。(全単元) ・筆者の見解を応用する力を付ける。(全単元) ・目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現を使う力を付ける。(全単元) 	<ul style="list-style-type: none"> ・面接や自己PRなどの活動を通じて、自己表現の方法や工夫について考察する。(『自分』を表現しよう) ・様々な文章を推敲したり、文章を要約したりする活動を通じて、論理的な文章の書き方について理解する。(論理的な文章を書こう) ・ファシリテーションの目的を学び、議論による問題解決の方法を考察する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・「人前で表現するのが苦手なあなたへ」(柴幸男) ・「リンクを張る能力の鍛え方」(山田ズーニー) ・「スポーツと同じように議論にもルールがある」(福澤一吉) 			15	
7	論理的な文章を書こう								
8	話し合う力をつけよう								
9									
第2回考査									1
9	情報活用力を身につけよう	<ul style="list-style-type: none"> ・的確に読解する力を付ける。(全単元) ・筆者の見解を応用する力を付ける。(全単元) ・目的や場面、相手、 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館を利用して目的とする情報の収集を行うとともに、収集した情報をもとに広報資料を作成・発表する。(情報活用力を身につけよう) ・自ら設定した課題について、プレゼンを行い、良い提案とは何かについて話し合 		<ul style="list-style-type: none"> ・「読者への配慮」(中村明) ・「プレゼンテーションの仕方」(河野哲也) ・「時間を味方につける」(村上春樹) 			15	
10	説得力のある提案をしよう								
11	表現を楽しもう								

		手段に応じた適切な表現を使う力を付ける。(全単元)	う。(説得力のある提案をしよう) ・これまで学んできた表現の方法を踏まえて、様々なジャンルの作品を創作する。(表現を楽しもう)		
第3回考査					1
12 1 2 3	全範囲	・問題演習に取り組み、国語の総合力を養う。	・記述問題演習に取り組む。	各種問題集	16
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
評価規準		生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけようとしている。	論理的思考力や想像力、創造力を養い、社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉の持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。	
評価方法		定期考査(レポート)、発表内容等を総合的に判断し評価。	定期考査(レポート)、課題プリントや授業への取り組み等を総合的に判断し評価。	課題等の提出、課題プリントや授業への取り組み等を総合的に判断し評価。	

令和6年度シラバス【 発展古典（文系選択） 】

長野県伊那北高等学校

科目	発展古典 (普通科)	単位数	2	授業時間 [総時数]	55分 [64回]	学年	3	学科	普通科
使用教科書		副教材等		新修古典文法（京都書房）、精説漢文（いいずな書店）、読んで見て覚える重要古文単語315（桐原書店）、その他各種問題集					
学習の目標	古典としての古文と漢文、古典に関連する文章を読むことによって、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。								
具体的な 取り組み・ 指導上の 注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な古典、古典に関連する文章を主体的・協働的に読み、古典に親しみ、考える。 ・様々な古典、古典に関連する文章を読んだり、読み比べたりして、課題を発見・解決し、他者が理解できるように発表する。 ・書いたり話したりして、表現しようとする姿勢が重要である。諦めてはいけない。 ・主体的・積極的に取り組む姿勢が重要である。受動的ではない。 								
月	単元名	指導目標	学習内容			備考	時数		
4 5 6	[古文] 物語 [漢文] 故事と寓話	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な物語作品を読み、登場人物の心情や行動について考える。(古文分野) ・古代中国の思想を通して、人間の生き方やあり方についての施策を深める。(漢文分野) 	<ul style="list-style-type: none"> ・古典などに表れた思想や感情を読みとり、人間、社会、自然などについて考察する。(全単元) ・古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。(全単元) ・故事成語について調べて発表する。(漢文分野) 			<ul style="list-style-type: none"> ・狩りの使ひ(伊勢物語) ・安積山(大和物語) ・「孟母断機」(列女伝) ・「夢為胡蝶」(荘子) 	15		
第1回考査							1		
6 7 8 9	[古文] 歴史 [漢文] 孔子と子路	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史上の人物、出来事がどのように語られているかを読み取る。(古文分野) ・歴史書に書かれた人物の生き方・考え方を通して、人間の生き方やあり方についての思索を深める。(漢文分野) 	<ul style="list-style-type: none"> ・古典などに表れた思想や感情を読みとり、人間、社会、自然などについて考察する。(全単元) ・古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりする。(全単元) ・図書館を利用して古典などを読み比べ、そこに描かれた人物、情景、心情などについて、感じたことや考えたことを発表する。(古文分野) 			<ul style="list-style-type: none"> ・隆家と道長(大鏡) ・伊周・隆家の配流(栄華物語) ・「子路請為弟子」、「嗟乎、由死矣」(史記) ・「弟子」(中島敦) ・『論語』における子路 	15		
第2回考査							1		
9 10 11	[古文] 評論・随筆 [漢文] 漢の高祖と韓信・張良	<ul style="list-style-type: none"> ・古人のものの見方、感じ方、考え方を読み取り、人間の生き方やあり方について考察する。(古文分野) ・歴史書に書かれた人物の生き方・考え方を 	<ul style="list-style-type: none"> ・古典などに表れた思想や感情を読みとり、人間、社会、自然などについて考察する。(全単元) ・古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりする。(全単元) ・日常の言語生活の中から我が国の伝統と 			<ul style="list-style-type: none"> ・秘する花を知ること(風姿花伝) ・稽古も歌口も同じほどの人(ささめごと) ・「国士無双」、「良薬苦口」(史記) 	15		

		通して、人間の生き方やあり方についての思索を深める。(漢文分野)	文化に関連する表現を集め、その意味や特色、由来などについて調べたことを発表する。(漢文分野)		
第3回考査					1
12 1 2 3	総合	・問題演習に取り組み 古典の総合力を養う。	・記述問題演習に取り組み。	各種問題集	15
評価規準		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		生涯にわたる社会生活に必要な 国語の知識や技能を身につけるとともに、わが国の伝統的な言語文化に対する理解を深めようとしている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、 古典を通した先人の見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め自分の思考を広げたり深めたりしようとしている。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、古典に親しみ自己を向上させ、わが国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	
評価方法		定期考査(レポート)、発表内容等を総合的に判断し評価。	定期考査(レポート)、課題プリントや授業への取り組み等を総合的に判断し評価。	定期考査(レポート)、課題プリントや授業への取り組み等を総合的に判断し評価。	

令和6年度シラバス【 地理探究 】

長野県伊那北高等学校

科目	地理探究		単位数	3	授業時間 [総時数]	55分 [96回]	学年	3	学科	普通科 理数科
使用教科書	新詳地理探究, 帝国書院 詳解現代地図最新版, 二宮書店		副教材等		新編地誌資料, 白地図ワーク&読図演習, とうほう データブックオブザワールド 2023, 二宮書店					
学習の目標	現代世界の地理的事象を系統地理的に考察し, 各地域の特性や歴史的背景を地誌的に捉え, 地理的な見方・考え方を養う。また, 国際社会を主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。									
具体的な取り組み・指導上の注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・地理学の概念や原理・法則、現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に探究する。 ・地球的な課題を見だし、系統地理的な考察からその過程や結果を適切に文章や地図・図表に表現する。 ・定期考査を行い、それまでの学習の取り組みや理解度の自己評価を行う。 									
月	単元名	指導目標	学習内容			備考	時数			
4 5 6	人口、集落、衣食住、言語・宗教、人種・民族	経済の発展を支える諸活動について理解し、世界の動向について理解するとともに世界中に暮らす人々の生活の様子や文化について考察し、理解を深める。	自然増加・社会増加、村落・都市、都市問題、再開発、衣食住、言語・宗教、多言語国家、人種差別、民族紛争、領土問題			人口減少問題と多様化するライフスタイルの関係を考察知ることや人種差別、宗教迫害の歴史から人類の多様性を認め共存する未来について考える。	23			
第1回考査							1			
7 8 9	現代世界の諸地域	現代世界の諸地域の自然環境、産業、歴史、文化、経済社会の課題などを項目ごとや各地域の特色に合わせて整理し、地誌的特色について考察を深める。	中国、韓国、ASEAN 諸国、インド、西アジアと中央アジア、北アフリカとサハラ以南アフリカ、EU 諸国、ロシア、アメリカ合衆国、ラテンアメリカ、オーストラリアとニュージーランド			地誌的な考察方法を学ぶとともに現代世界の諸地域において各地域の特色ごとに整理し、国際社会を空間的に把握・考察する力を養う。	23			
第2回考査							1			
9 10 11	地形 気候 環境問題	太陽からの熱エネルギーによる外的営力やテクトニクスによる内的営力、大気の大循環などの地球システムを学び、地球環境と人間のかかわりについて考察する総合的学力を養う。	形とテクトニクス、山地地形、平野地形、海岸地形、その他さまざまな作用により形成される地形、大気の大循環、気候要素と気候因子、ケッペンの気候区分、世界の気候区、日本の気候区、湖沼と地表水・地下水、海流、気候変動と異常気象、災害と防災、地球環境問題			地形図の読解やGISを利用し、各種地形や気候について理解を深めるための演習を行うことを通して、自然環境と人々の生活がどのように関わりあうか、考察する。	23			
第3回考査							1			
12 1 2 3	演習	総合的な地理の学力を定着させる。	系統地理と地誌の問題演習			現代社会における諸問題を多面的・多角的に考察し、系統地理分野・地誌分野を横断的に捉える力を養う。	23			
第4回考査							1			

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	自然環境, 産業, 地球的な諸課題について理解を深め, 人間生活との相関を学ぶ	人間生活との関わりを多面的, 多角的に考察し, 諸課題を適切にまとめ, 表現できる。	地図や各種統計資料の読み取りから諸現象を考察できる能力を身につける。
評価方法	4回の考査などで基礎的・応用的な問題を課し, 知識・技能の定着と発展性を見定める。	定期考査時に記述問題を課し, 思考・判断・表現の定着と発展性を評価する。	グループ学習, 質疑応答, 事後の質問などで主体的に取り組む態度を評価する。

○ 学習のポイント

暗記だけでなくなぜその現象が起こるのかを考察する姿勢で科目に臨むこと。地理には俯瞰的な視点でかつ多角的に物事をとらえ考察する力が必要となるので、様々な事柄に興味・関心を持ち、日常生活の中の疑問を大切にしていきたい。教科書・地図帳・資料集・統計資料などを活用することを厭わない姿勢を持ち、問題演習に取り組むこと。

令和6年度シラバス【 地理探究 】

長野県伊那北高等学校

科目	地理探究		単位数	4	授業時間 [総時数]	55分 [128回]	学年	3	学科	普通科 理数科
使用教科書	新詳地理探究, 帝国書院 詳解現代地図最新版, 二宮書店		副教材等		新編地誌資料, 白地図ワーク&読図演習, とうほう データブックオブザワールド 2024, 二宮書店					
学習の目標	現代世界の地理的事象を系統地理的に考察し, 各地域の特性や歴史的背景を地誌的に捉え, 地理的な見方・考え方を養う。また, 国際社会を主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。									
具体的な取り組み・指導上の注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・地理学の概念や原理・法則、現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に探究する。 ・地球的な課題を見だし、系統地理的な考察からその過程や結果を適切に文章や地図・図表に表現する。 ・定期考査を行い、それまでの学習の取り組みや理解度の自己評価を行う。 									
月	単元名	指導目標	学習内容			備考	時数			
4 5 6	農業 鉱産資源	自然・社会条件に基づき農業地域を理解し、農業の問題について学びを深める。今後の資源・エネルギー問題を主体的に学ぶ。	農牧業, 自給的農牧業, モンスーンアジアの農業, 商業的農牧業, 企業的農牧業, プランテーション農業, 食糧問題, 林業, 水産業, 日本の農林水産業 エネルギー資源, 電力, 鉱産資源, 資源・エネルギー問題			食料不足など地球的課題について探究的な学習も交える。統計資料を把握して地域や産物の特色や課題を読み取る。	31			
第1回考査							1			
7 8 9	商業、交通 通信、貿易、人口、集落、衣食住、言語・宗教、人種・民族	経済の発展を支える諸活動について理解し、世界の動向について理解するとともに世界中に暮らす人々の生活の様子や文化について考察し、理解を深める。	産業構造の変遷、交通の発達、日米貿易、自由貿易・保護貿易、WTO・EPA、自然増加・社会増加、村落・都市、都市問題、再開発、衣食住、言語・宗教、多言語国家、人種差別、民族紛争、領土問題			人口減少問題と多様化するライフスタイルの関係性を考察知ることや人種差別、宗教迫害の歴史から人類の多様性を認め共存する未来について考える。	31			
第2回考査							1			
9 10 11	現代世界の諸地域	現代世界の諸地域の自然環境、産業、歴史、文化、経済社会の課題などを項目ごとや各地域の特色に合わせて整理し、地誌的特色について考察を深める。	中国、韓国、ASEAN諸国、インド、西アジアと中央アジア、北アフリカとサハラ以南アフリカ、EU諸国、ロシア、アメリカ合衆国、ラテンアメリカ、オーストラリアとニュージーランド			地誌的な考察方法を学ぶとともに現代世界の諸地域において各地域の特色ごとに整理し、国際社会を空間的に把握・考察する力を養う。	31			
第3回考査							1			
12 1 2 3	地形 気候 環境問題、演習	太陽からの熱エネルギーによる外的営力やテクトニクスによる内的営力、大気の大循環などの地球システムを学び、地球環境と人間のかかわりについて考察する総合的学力を養う。	地形とテクトニクス、山地地形、平野地形、海岸地形、その他さまざまな作用により形成される地形、大気の大循環、気候要素と気候因子、ケッペンの気候区分、世界の気候区、日本の気候区、湖沼と地表水・地下水、海流、気候変動と異常気象、災害と防災、地球環境問題			地形図の読解やGISを利用し、各種地形や気候について理解を深めるための演習を行うことを通して、自然環境と人々の生活がどのように関わりあうか、考察する。	31			
第4回考査							1			

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	自然環境, 産業, 地球的な諸課題について理解を深め, 人間生活との相関を学ぶ	人間生活との関わりを多面的, 多角的に考察し, 諸課題を適切にまとめ, 表現できる。	地図や各種統計資料の読み取りから諸現象を考察できる能力を身につける。
評価方法	4回の考査などで基礎的・応用的な問題を課し, 知識・技能の定着と発展性を見定める。	定期考査時に記述問題を課し, 思考・判断・表現の定着と発展性を評価する。	グループ学習, 質疑応答, 事後の質問などで主体的に取り組む態度を評価する。

○ 学習のポイント

暗記だけでなくなぜその現象が起こるのかを考察する姿勢で科目に臨むこと。地理には俯瞰的な視点でかつ多角的に物事をとらえ考察する力が必要となるので、様々な事柄に興味・関心を持ち、日常生活の中の疑問を大切にしていきたい。教科書・地図帳・資料集・統計資料などを活用することを厭わない姿勢を持ち、問題演習に取り組むこと。

令和6年度シラバス【 日本史探求 】

長野県伊那北高等学校

科目	日本史探求	単位数	3	授業時間 [総時数]	55分 [96回]	学年	3	学科	普通科
使用教科書	詳説日本史 日本史探究 (山川出版社)	副教材等	新詳日本史(浜島書店) 史料日本史(とうほう) 新日本史要点ノート[応用編](啓隆社) 日本史用語集(山川出版社) ウィニングコンパス(とうほう)						
学習の目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。								
具体的な取り組み・指導上の注意点	二年次の学習の続きから授業を始める。受験のみならず、歴史を理解するためには、単に知識をつけるのではなく、知識を基に、各時代の歴史観を構築することが必要。各時代の史料を読み、内容を読み取ることはもちろん、その資料の出された要因・背景などを理解し、因果関係や人物の関係性などを考察し、各時代の様子を理解し、推測できるようになることも重要である。 ※要点ノートについては予習をしてこよう。								
月	単元名	指導目標	学習内容			備考	時数		
4 5 6	第9章 幕藩体制の成立と展開 第10章 幕藩体制の動揺 第11章 近世から近代へ	近世幕藩体制の安定期から、三大改革を経て内憂外患に至る様子を、文化を踏まえて理解させる。 幕末期の混乱から新政府の樹立までを理解させる。	3 幕政の安定 4 経済の発展 5 元禄文化 1 幕政の改革 2 宝暦・天明期の文化 3 幕府の衰退と近代への道 4 化政文化 1 開国と幕末の動乱 2 幕府の滅亡と新政府の発足	教科書や資料集・史料の内容を参照しつつ、グループディスカッションなども交えて展開させたい。			31		
第1回考査							1		
6 7 8 9	第12章 近代国家の成立 第13章 近代国家の展開 第14章 近代国家の展開 第15章 恐慌と第2次世界大戦	明治政府主導による立憲国家の樹立と、日本の国際的地位の確立までを理解させる。 20世紀以降の日本の国際的な立ち位置や、国内の状況を経済・文化も含め学習させる。	1 明治維新と富国強兵 2 立憲国家の成立 1 日清・日露戦争と国際関係 2 第一次世界大戦と日本 3 ワシントン体制 1 近代産業の発展 2 近代文化の発達 3 市民生活の変容と大衆文化 1 恐慌の時代 2 軍部の台頭 3 第二次世界大戦				31		
第2回考査							1		

9	第16章 占領下の日本	戦後日本の歩みを学習する。 占領期から高度経済成長、さらに経済大国となるまでの流れを理解する。	1 占領と改革 2 冷戦の開始と講和		31
10	第17章 高度成長の時代		1 55年体制 2 経済復興から高度成長へ		
11	第18章 激動する世界と日本		1 経済大国への道 2 冷戦の終結と日本社会の変容		
第3回考査					1
12	演習	共通テスト対策に向け問題演習を積み重ねる。		特編での授業	
1					
2					
評価規準		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	
評価方法		小テスト 定期考査	定期考査	発言・質問 定期考査	

○学習のポイント

とにかく教科書を読み込むことが大切です。教科書ベースの学習を心がけて下さい。大学進学を目指す人がほとんどだと思います。様々な大学がありますが、ほとんどの大学、もちろん共通テストも、教科書ベースで日本史を理解すれば、勝負できます。

授業は、歴史の流れを重視した展開となる。歴史を大枠で捉え、時代観・歴史観を養えるように進めていきます。各時代の出来事、事件、政策、争い、文化、生活などは「なぜ」起こったのか？という視点で、授業に参加し、教科書を読んでほしい。時代の流れという「幹」＝「土台」を作り、そこにたくさんの「枝」＝「知識」をつけていくイメージを持ってください。そのための復習問題、グループワーク、論述問題・過去問へのチャレンジも授業内で行っていきます。

また過去の先輩たちで、日本史の力を伸ばした人は、とにかく質問をしてくれました。進度は早めになります。わからないところや、疑問があれば、社会科研究室に足を運んでください。

令和6年度シラバス【 倫理 】

長野県伊那北高等学校

科目	倫理	単位数	3	授業時間 [総時数]	55分 [96回]	学年	3	学科	普通科
使用教科書	倫理 (東京書籍)	副教材等	『テオリア 最新倫理資料集』(第一学習社) 『倫理用語集』(山川出版社) 『要点マスター 倫理 整理と演習』(東京書籍)						
学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学習を通じて、さまざまな哲学者や思想家、宗教家の思索を深く理解し、現代社会における諸問題に対して、それらを踏まえながら批判し、反省することのできる「愛知者」となる。 ・学習を通じて、大学共通テストを中心とした入試に対応する実践力を身につける。 								
具体的な 取り組み・ 指導上の 注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・授業においては、図や絵を用いながら、第一に思想家とその人物が唱えた思想の内容の対応関係(「誰が何を言ったか」を、第二に思想家同士の影響関係(「Aの思想とBの思想はどこがどう違うのか」「思想家Cの影響を受けた思想家は誰か」)を整理することを重視する。 ・抽象的な哲学用語をただ理解し、記憶することだけではなくて、自身の人生観、人間観、世界観を問いなおす「本質的な問い」に思いをよせ、その答えを他者と共有する機会を設ける。 ・大学共通テストで高得点を取ることをめざし、この倫理の授業内容はもちろん、公共の復習も適度に行ない、また、問題演習の時間を多く確保する。 								
月	単元名	指導目標	学習内容			備考	時数		
4 5 6	さまざまな人生観・倫理観・世界観「一」	・右の学習内容を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 源流思想 <ul style="list-style-type: none"> ・ 古代ギリシア思想 ・ 西アジアの一神教 ・ 古代インド思想 ・ 古代中国思想 ● 西洋近代思想 <ul style="list-style-type: none"> ・ ルネサンス・宗教改革・科学革命 ・ イギリス経験論・大陸合理論 ・ 社会契約説・啓蒙思想 ・ ドイツ観念論 			左はあくまで予定であり、時折の社会状況に応じて変更することもある。	23		
第1回考査							1		
6 7 8 9	さまざまな人生観・倫理観・世界観「二」	・右の学習内容を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 西洋近代思想 <ul style="list-style-type: none"> ・ 功利主義 ・ 社会主義 ・ 進化論・プラグマティズム ・ 実存主義・現象学 ・ 精神分析学 ・ 構造主義・ポスト構造主義 ・ フランクフルト学派 ・ 分析哲学・科学哲学・政治哲学 			左はあくまで予定であり、時折の社会状況に応じて変更することもある。	24		

	国際社会に生きる日本人としての自覚		<ul style="list-style-type: none"> ● 日本思想 ・ 古代日本思想 ・ 中世日本思想 ・ 近世日本思想 ・ 近代日本思想 ・ 現代日本思想 		
第2回考査					1
9 10 11	現代の諸課題と倫理・人間の心のあり方	・ 右の学習内容を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 現代の諸課題と倫理 ・ 生命倫理 ・ 環境倫理 ・ 科学技術と倫理 ・ 家族や地域社会と倫理 ・ グローバル社会と倫理 ● 心理学 ・ 認知 ・ 感情 ・ パーソナリティ ・ 発達 ● 「人間とはなにか」 	左はあくまで予定であり、時折の社会状況に応じて変更することもありうる。	23
第3回考査					1
12 1 2	演習	・ 入試に向けた実践力を身につける。	● 共通テストに向けた演習	左はあくまで予定であり、時折の社会状況に応じて変更することもありうる。	23
評価規準	知識・技能	科目「倫理」で取り扱われる全内容を理解しているか。共通テストにみられるような正誤判定、資料読解の問題が解けるようになっているか。	思考・判断・表現	「本質的な問い」に対して自分なりの見解をもっているか。それをわかりやすく論述できているか。	主体的に学習に取り組む態度
				真摯に授業に参加しているか。定期考査にむけて学習を自主的に行なえているか。	
評価方法		定期考査における知識の定着度を問う問題の正答率などを参考に、総合的に判断する。		定期考査における思考力や表現力を問う問題の正答率やレポート等の提出物などを参考に、総合的に判断する。	定期考査の点数や提出物、授業におけるグループワークの取り組みなどを参考に、総合的に判断する。

○ 学習のポイント

- ・ 長期的な目標として、自身が「愛知者」となり、さまざまなものの見方を得、価値観の異なる他者に寛容になることをめざし、短期的な目標として、共通テストなどの入試で高得点をとることをめざしてほしい。
- ・ 長期的な目標に到達するためにも、授業で紹介した書籍や教科書・資料集にのっている原典を手にとり、思想家のことばにふれてみてほしい。
- ・ 短期的な目標に到達するために、考査の問題や購入した問題集をくり返し説き、丹念に復習をしてほしい。

令和5年度シラバス【数学研究Ⅱ】（A1類型・B類型）

長野県伊那北高等学校

科目	数学研究Ⅱ（A1・B）		単位数	2	授業時間 [総時数]	55分 [64回]	学年	3	学科	普通科
使用教科書	なし		副教材等	新課程 メジアン数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C 受験編						
学習の目標	既習の数学ⅠAⅡBCについて、より深く理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する応用力を培い、数学の良さを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。記述試験・共通テスト対策として問題演習に取り組み、演習力を身につけ、学力の定着をはかる。									
具体的な取り組み・指導上の注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査、小テストなどを行う。 ・演習を利用して、学習の自己評価を行い各単元の理解を深める。 ・課題を出して、知識・技能の習得の助けとし、思考力・判断力・表現力の向上を目指す。 									
月	単元名	指導目標	学習内容			備考	時数			
4	数Ⅰ	それぞれの単元での定義などを理解し、演習につなげていく。	数と式、関数と方程式・不等式				13			
5	数A		式と証明・論理、整数の性質							
6			場合の数・確率、図形の性質							
第1回考査							1			
6	数Ⅱ	それぞれの単元での定義などを理解し、演習につなげていく。	図形と式、三角・指数・対数関数				13			
7	数B		微分法・積分法、数列、データの分析、							
8	数C		ベクトル、統計的な推測							
9	数Ⅰ 数A		以降、繰り返し							
第2回考査							1			
9	数ⅠA	それぞれの単元での定義などを理解し、演習につなげていく。	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・Cの演習				13			
10	数ⅡB									
11	数C									
第3回考査							1			
12	演習1	数ⅠAⅡBCの復習 数学全範囲の演習	問題演習（共通テスト対応）			特編授業	22			
1	演習2		問題演習（記述試験対応）							
2										
3										
評価規準	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度				
	既習の数学ⅠAⅡBCにおける基本的な概念、原理、法則などを深く理解し、それらを基により発展的な知識を身に付け、数学的に処理する仕方や推論方法などの技能を習得している。		当該分野において、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方、考え方を適切に表現・処理する技能を身に付けている。			当該分野における考え方に興味を持つと共に、数学のよさを認識し、事象の考察に積極的に活用して数学的な考え方に基づいた探究をしようとする。				
評価方法	定期考査 小テスト(ウィークリーテスト)		定期考査 課題レポート			演習 課題レポート				

令和6年度シラバス【数学研究Ⅱ】(A2類型)

長野県伊那北高等学校

科目	数学研究Ⅱ (A2)		単位数	4	授業時間 [総時数]	55分 [128回]	学年	3	学科	普通科
使用教科書	なし		副教材等		新課程 メジアン数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C 受験編					
学習の目標	既習の数学ⅠAⅡBCについて、より深く理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する応用力を培い、数学の良さを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。記述試験・共通テスト対策として問題演習に取り組み、演習力を身につけ、学力の定着をはかる。									
具体的な取り組み・指導上の注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査、小テストなどを行う。 ・演習を利用して、学習の自己評価を行い各単元の理解を深める。 ・課題を出して、知識・技能の習得の助けとし、思考力・判断力・表現力の向上を目指す。 									
月	単元名	指導目標	学習内容			備考	時数			
4	数Ⅰ	それぞれの単元での定義などを理解し、演習につなげていく。	数と式、関数と方程式・不等式				31			
5	数A		式と証明・論理、整数の性質							
6			場合の数・確率、図形の性質							
第1回考査							1			
6	数Ⅱ	それぞれの単元での定義などを理解し、演習につなげていく。	図形と方程式、三角・指数・対数関数				31			
7	数B		微分法・積分法、数列、データの分析、							
8	数C		ベクトル、統計的な推測							
9	数Ⅰ 数A		以降、繰り返し							
第2回考査							1			
9	数ⅠA	それぞれの単元での定義などを理解し、演習につなげていく。	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・Cの演習				31			
10	数ⅡB									
11	数C									
第3回考査							1			
12	演習1	数ⅠAⅡBの復習 数学全範囲の演習	問題演習(共通テスト対応)			特編授業	32			
1	演習2		問題演習(記述試験対応)							
2										
3										
評価規準	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度				
	既習の数学ⅠAⅡBにおける基本的な概念、原理、法則などを深く理解し、それらを基により発展的な知識を身に付け、数学的に処理する仕方や推論方法などの技能を習得している。		当該分野において、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方、考え方を適切に表現・処理する技能を身に付けている。			当該分野における考え方に興味を持つと共に、数学のよさを認識し、事象の考察に積極的に活用して数学的な考え方に基づいた探究をしようとする。				
評価方法	定期考査 小テスト		定期考査 課題レポート			演習 課題レポート				

科目	物理	単位数	3	授業時間 [総時間]	55分 [96回]	学年	3	普通科
使用教科書	物理基礎（数研出版） 物理（数研出版）	副教材等	フォローアップドリル物理（数研出版） セミナー物理基礎＋物理（第一学習社） 標準編 物理 理系問題（駿台文庫）					
学習の目標	物理的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、科学的に探究するために必要な資質・能力を育成すること。							
具体的な 取り組み・ 指導上の 注意点	(1) 物理学における基本的な概念、原理・法則などについての系統的な理解を深め、科学的に探究するために必要な知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 物理的な事物・現象に関して、観察、実験などを行い科学的に探究する力を養う。 (3) 自然に対する関心を高め、事物・現象を科学的に探究しようとする態度を養う。							
月	単元名	学習内容	目標	時数				
4	【物理】 第4編 電気と磁気							
	第1章 電場	5 コンデンサー	各物理現象に関する概念を理解し、基本事項の修得を目指す。文章を読んで状況を理解し、どの基本事項を使って現象を解き明かすのかを考えられることを目指す。	4				
	第2章 電流	1 オームの法則 2 直流回路 3 半導体		1 6 1				
	第3章 電流と磁場	1 磁場 2 電流のつくる磁場 3 電流が磁場から受ける力 4 ローレンツ力		1 1 2 2				
	第4章 電磁誘導と電磁波	1 電磁誘導の法則 2 自己誘導と相互誘導		2 2				
	第1回定期考査				1			
				3 交流の発生 4 交流回路 5 電磁波		2 6 1		
	第5編 原子							
	第1章 電子と光	1 電子 2 光の粒子性 3 X線 4 光の波動性		各物理現象に関する概念を理解し、基本事項の修得を目指す。文章を読んで状況を理解し、どの基本事項を使って現象を解き明かすのかを考えられることを目指す。	2 2 1 1			
	第2章 原子と原子核	1 原子の構造とエネルギー準位 2 原子核 3 放射線とその性質 4 核反応と核エネルギー 5 素粒子			3 3			
	高校物理の総復習	力学		復習・教科書演習問題	3			
	第2回定期考査				1			
9	高校物理の総復習	熱力学 波動 電気と磁気 原子分子		復習・教科書演習問題	5			
10				10				
11	高校物理 総合問題		問題演習	10				
第3回定期考査				1				
12	高校物理 総合問題		問題演習	22				
1								
2								

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探求するために必要な観察実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に着けている。	自然の事物・現象から問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探求している。	自然の事物・現象に関わり、見通しを持ったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。
評価方法	小テスト 実験レポート 定期考査	実験レポート 定期考査	発言・質問 実験レポート 課題提出

令和6年度シラバス【化学】

長野県伊那北高等学校

科目	化学	単位数	3	授業時間 [総時間]	55分 [96回]	学年	3	普通科			
使用教科書	化学 (数研出版)	副教材等	リードα化学基礎+化学(数研出版) フォローアップドリル化学(数研出版) スクエア最新図説化学(第一学習社)								
学習の目標	化学や化学現象に関わり、科学的な見かた・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、様々な化学現象を科学的に探求するために必要な資質能力を身に着ける。										
具体的な 取り組み・ 指導上の 注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、化学に関する知識を深める。 ・科学的に思考し判断するために必要な観察、実験等に関する基本的な技能を身に着ける。 ・実験を通して、化学反応や身近にある化学変化に主体的に関わり探究する力を養う。 ・定期考査を利用して、学習の自己評価を行う。 										
月	単元名	学習内容	目標	知 技	思 判 表	主 体 的	時 数				
4	第3編 無機化学 1章 非金属元素	1 元素の分類と周期表	様々な元素の単体・化合物の性質を、周期表上の位置や電子配置といった既習内容と関連付けながら理解し、定着させる。	○	○		9				
		2 水素・貴ガス元素		○	○						
		4 ハロゲン元素 (実験)		○	○	○					
		5 酸素・硫黄 (実験)		○	○	○					
		6 窒素・リン (実験)		○	○	○					
		7 炭素・ケイ素		○	○						
5	2章 金属元素(I)	1 アルカリ金属元素 (実験)	様々な元素の単体・化合物の性質を、周期表上の位置や電子配置といった既習内容と関連付けながら理解し、定着させる。	○	○	○	6				
		2 アルカリ土類金属元素 (実験)		○	○	○					
		3 アルミニウム・スズ・鉛		○	○						
	3章 金属元素(II)	1 遷移元素の特徴		様々な元素の単体・化合物の性質を、周期表上の位置や電子配置といった既習内容と関連付けながら理解し、定着させる。	○	○			6		
		2 鉄			○	○					
3 銅		○	○								
4 銀・金	○	○									
5 亜鉛	○	○									
6 クロム・マンガン	○	○									
7 その他の遷移元素	○	○									
		8 金属イオンの分離・確認 (実験)	○	○	○						
6	第4編 有機化合物 1章 有機化合物の特徴と分類	1 有機化合物の特徴と分類	有機化合物の特徴や、性質について、分子構造と関連付けながら理解し定着させる。	○	○		2				
		2 有機化合物の分析		○	○						
	2章 脂肪族炭化水素	1 飽和炭化水素 (実験)		○	○	○	5				
		2 不飽和炭化水素 (実験)		○	○	○					

7	3章 アルコールと 関連化合物	1 アルコールとエーテル (実験)	天然に存在する物質、及び身 近な工業製品の性質・利用に ついて基本構造と性質を理解 し、分子構造と関連付けなが ら知識を定着させる。	○	○	○	7
		2 アルデヒドとケトン (実験)		○	○		
8	4章 芳香族化合物	3 カルボン酸		○	○		7
9		4 エステルと油脂		○	○		
		1 芳香族炭化水素		○	○		7
		2 フェノール類と芳香族カルボン酸 (実験)		○	○	○	
		3 香族アミンとアゾ化合物		○	○		7
		4 有機化合物の分離		○	○		
	第5編 高分子化合物						1
	1章 高分子化合物 の性質	1 高分子化合物の構造と性質		○	○		
	2章 天然 高分子化合物	1 糖類		○	○		6
		2 アミノ酸とタンパク質		○	○		
		3 核酸		○	○		
10	3章 合成 高分子化合物	1 合成繊維 (実験)		○	○	○	5
		2 合成樹脂		○	○		
		3 ゴム		○	○		7
	復習および演習			○	○		
11	復習および演習			○	○		35
12	復習および演習			○	○		
1	復習および演習			○	○		
2	復習および演習			○	○		

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価標準	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探求するために必要な観察実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に着けている。	自然の事物・現象から問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探求している。	自然の事物・現象に関わり、見通しを持つたり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。
評価方法	小テスト 実験レポート 定期考査	実験レポート 定期考査	発言・質問 実験レポート 定期考査

○ 学習のポイント

自然科学の学習では、自然の現象を我々が理解しやすいように法則や数式に変換したものを用いて学んでいきます。化学もちろん同様ですが、特に化学は目に見えるマクロ的な変化を、分子レベルのミクロ的な視点で考えられるようにし、分子の挙動、イオンの生成などのイメージを頭の中で作ることが大切です。現象の名前や公式をただ暗記したりするような学習は非効率で、楽しくありません。

また、物質名や化学式をはじめとして、知らないのと解けない問題が多なのが化学の特徴でもあります。2年次の化学基礎・化学の知識を定着させた上で、楽しく学ぶことが大切です。

科目	理数物理	単位数	3	授業時間 [総時間]	55分 [96回]	学年	3	理数科
使用教科書	物理基礎（数研出版） 物理（数研出版）	副教材等	フォローアップドリル物理（数研出版） セミナー物理基礎＋物理（第一学習社） 標準編 物理 理系問題（駿台文庫）					
学習の目標	物理的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、科学的に探究するために必要な資質・能力を育成すること。							
具体的な 取り組み・ 指導上の 注意点	(1) 物理学における基本的な概念、原理・法則などについての系統的な理解を深め、科学的に探究するために必要な知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 物理的な事物・現象に関して、観察、実験などを行い科学的に探究する力を養う。 (3) 自然に対する関心を高め、事物・現象を科学的に探究しようとする態度を養う。							
月	単元名	学習内容	目標	時数				
4	【物理】 第4編 電気と磁気							
	第1章 電場	5 コンデンサー	各物理現象に関する概念を理解し、基本事項の修得を目指す。文章を読んで状況を理解し、どの基本事項を使って現象を解き明かすのかを考えられることを目指す。	4				
	第2章 電流	1 オームの法則 2 直流回路 3 半導体		1 6 1				
	第3章 電流と磁場	1 磁場 2 電流のつくる磁場 3 電流が磁場から受ける力 4 ローレンツ力		1 1 2 2				
	第4章 電磁誘導と電磁波	1 電磁誘導の法則 2 自己誘導と相互誘導		2 2				
	第1回定期考査				1			
				3 交流の発生 4 交流回路 5 電磁波		2 6 1		
	第5編 原子							
	第1章 電子と光	1 電子 2 光の粒子性 3 X線 4 光の波動性		各物理現象に関する概念を理解し、基本事項の修得を目指す。文章を読んで状況を理解し、どの基本事項を使って現象を解き明かすのかを考えられることを目指す。	2 2 1 1			
	第2章 原子と原子核	1 原子の構造とエネルギー準位 2 原子核 3 放射線とその性質 4 核反応と核エネルギー 5 素粒子			3 3			
	高校物理の総復習	力学		復習・教科書演習問題	3			
	第2回定期考査				1			
9	高校物理の総復習	熱力学 波動 電気と磁気 原子分子		復習・教科書演習問題	5			
10				10				
11	高校物理 総合問題		問題演習	10				
第3回定期考査				1				
12	高校物理 総合問題		問題演習	22				
1								
2								

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探求するために必要な観察実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に着けている。	自然の事物・現象から問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探求している。	自然の事物・現象に関わり、見通しを持ったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。
評価方法	小テスト 実験レポート 定期考査	実験レポート 定期考査	発言・質問 実験レポート 課題提出

7	3章 アルコールと 関連化合物	1 アルコールとエーテル (実験)	天然に存在する物質、及び身近な工業製品の性質・利用について基本構造と性質を理解し、分子構造と関連付けながら知識を定着させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	7						
		2 アルデヒドとケトン (実験)		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>							
		3 カルボン酸		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>							
		4 エステルと油脂		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>							
				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>							
8	4章 芳香族化合物	1 芳香族炭化水素		天然に存在する物質、及び身近な工業製品の性質・利用について基本構造と性質を理解し、分子構造と関連付けながら知識を定着させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	7					
		2 フェノール類と芳香族カルボン酸 (実験)			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>						
		3 香族アミンとアゾ化合物			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>						
		4 有機化合物の分離			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>						
					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>						
9	第5編 高分子化合物				天然に存在する物質、及び身近な工業製品の性質・利用について基本構造と性質を理解し、分子構造と関連付けながら知識を定着させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1				
	1章 高分子化合物の性質	1 高分子化合物の構造と性質				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					
	2章 天然高分子化合物	1 糖類				天然に存在する物質、及び身近な工業製品の性質・利用について基本構造と性質を理解し、分子構造と関連付けながら知識を定着させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	6		
		2 アミノ酸とタンパク質					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>			
		3 核酸					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>			
10	3章 合成高分子化合物	1 合成繊維 (実験)					天然に存在する物質、及び身近な工業製品の性質・利用について基本構造と性質を理解し、分子構造と関連付けながら知識を定着させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	5		
		2 合成樹脂						<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
		3 ゴム						<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
		復習および演習						<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		7	
								<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
11	復習および演習							天然に存在する物質、及び身近な工業製品の性質・利用について基本構造と性質を理解し、分子構造と関連付けながら知識を定着させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		35
	12 復習および演習								<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	1 復習および演習								<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	2 復習および演習								<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
										<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
評価方法	知識・技能		思考・判断・表現						主体的に学習に取り組む態度				
	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探求するために必要な観察実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。		自然の事物・現象から問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探求している。						自然の事物・現象に関わり、見通しを持ったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。				
	小テスト 実験レポート 定期考査		実験レポート 定期考査						発言・質問 実験レポート 定期考査				

○ 学習のポイント

自然科学の学習では、自然の現象を我々が理解しやすいように法則や数式に変換したものをういて学んでいきます。化学ももちろん同様ですが、特に化学は目に見えるマクロ的な変化を、分子レベルのミクロ的な視点で考えられるようにし、分子の挙動、イオンの生成などのイメージを頭の中で作ることが大切です。現象の名前や公式をただ暗記したりするような学習は非効率で、楽しくありません。

また、物質名や化学式をはじめとして、知らないのと解けない問題が多いたが化学の特徴でもあります。2年次の化学基礎・化学の知識を定着させた上で、楽しく学ぶことが大切です。

令和6年度シラバス【理数生物】

長野県伊那北高等学校

科目	理数生物	単位数	3	授業時間 [総時間]	55分 [96回]	学年	3	理数科			
使用教科書	高等学校 生物 (啓林館)	副教材等		センサー生物 (啓林館) WINSTEP生物 (ラーズ) スクエア最新図説生物							
学習の目標	生物や生物現象に関わり、理科の見かた・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生命現象を科学的に探求するために必要な資質能力を身に着ける。										
具体的な 取り組み・ 指導上の 注意点	<ul style="list-style-type: none"> 生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深める。 科学的に探求するために必要な観察、実験等に関する基本的な技能を身に着ける。 観察、実験などを行い、生物や生物現象に主体的に関わり探求する力を養う。 定期考査を利用して、学習の自己評価を行う。 										
月	単元名	学習内容	目標	知 技	思 判 表	主 体 的	時 数				
4	第4部	・刺激の受容	・環境に適応して進化してきた生物の体内のメカニズムとその発露について理解する ・生態系の重要性を理解する ・生態系の成り立ちの基本を知る	○	○	○	12				
5	生物の環境応答	・神経、神経系		○	○						
6	刺激の需要と反応	・効果器		○	○						
	動物の行動	・生得的行動、学習		○	○			11			
	植物の環境応答	・植物の生殖と発生		○	○						
		・発芽と成長		○	○			1			
		◎第1回考査		○	○	○					
6	第5部	・個体群とその変動		・生態系の重要性を理解する ・生態系の成り立ちの基本を知る	○	○		10			
7	生態と環境	・種内関係			○	○					
8	個体群と生物群集	・種間関係			○	○					
	生態系	・生態系と物質生産、生態系と人間生活			○	○			11		
9		・問題演習			○	○	○				
		◎第2回考査	○		○			1			
10		・問題演習	○		○	○					
11		・実験	○		○	○		22			
12		◎第3回考査	○		○	○					
1		・問題演習	○		○	○		27			
2											
評価 規 準	知識・技能 生命現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探求するために必要な観察実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に着けている。		思考・判断・表現 既知の生命現象から問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探求している		主体的に学習に取り組む態度 生命現象に関わり、見通しを持ったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。						
評価 方 法	小テスト 実験レポート 定期考査		実験レポート 定期考査		実験レポート 定期考査						

令和6年度シラバス【体育】

長野県伊那北高等学校

科目	体育	単位数	3	授業時間 [総時数]	55分 [96回]	学年	3	学科	普通科 理数科				
使用教科書	なし	副教材等	なし										
学習の目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質や能力を身に付ける。												
具体的な 取り組み・ 指導上の 注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付ける。 ・課題の解決に向けて思考・判断し、自己や仲間の考えたことを他者に伝える能力を身に付ける。 ・公正、協働、責任、参画などの態度を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ力を身に付ける。 												
月	単元名	指導目標	学習内容			備考	時数						
4	体づくり 運動	<ul style="list-style-type: none"> ・健康、安全の確保とフェアなプレイ態度の育成 ・体力の向上を図ることのできる能力の育成と各種目技能の向上 ・個人技能の向上と集団における高度な動きの習得 	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動 ・スポーツテスト ・ソフトボール、バレーボール、バドミントン、テニス、卓球から1種目選択 ・現代的なリズムのダンス ・バレーボール、ソフトバレー、サッカー、テニスから1種目選択 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方 				6						
5	球技Ⅰ						14						
6	ダンス						6						
7	球技Ⅱ						14						
8	体育理論						4						
9	陸上競技						<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決におけるPDCAサイクルの習得 	<ul style="list-style-type: none"> ・競走（長距離走） ・サッカー、ソフトボール、バスケット、バドミントン、卓球から1種目選択 ・バスケット、卓球、ソフトバレー、ニュースポーツから1種目選択 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方 ・選択したニュースポーツ 			10		
10	球技Ⅲ										14		
11	球技Ⅳ										14		
12	体育理論	4											
1	体づくり 運動	5											
評価規準	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度							
	①ゲーム中での技能発揮 ②種目における体力向上 ③技能の観察と分析力 ④空間を作る動き		①合理的な動きや運動成果、改善点を仲間に伝える力 ②自己に適した運動の関わり方と合意形成への貢献			①主体的に取り組む姿勢 ②健康安全への理解 ③相手を尊重する態度やフェアなプレイ態度、協調性							
評価方法	各種目において、ゲームや技能テストを観察で評価する。		ゲームや技能テストでの観察。グループノートの提出がある種目は、内容でも評価。			出席を評価。観察でも評価する。							

令和6年度シラバス【体育】

長野県伊那北高等学校

科目	保健体育総合	単位数	2	授業時間 [総時数]	55分 [64回]	学年	3	学科	普通科 文系
使用教科書	現代高等保健体育	副教材等	なし						
学習の目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体としてとらえ、健やかな心身の育成を資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を育成することを目指す。								
具体的な 取り組み・ 指導上の 注意点	(1) スポーツの多様な理論や実践、指導に関する課題研究 (2) スポーツに関わる多様な団体、イベントの企画や運営に関する課題研究 (3) スポーツを通じた多様な社会参画に関する課題研究 ※体育・スポーツ系指導者、組織運営・マネジメント等に興味があり、そのような内容を含む進路を考えている生徒が選択することが望ましい。								
月	指導目標	学習内容			備考	時数			
4 5	●自身の興味のあるスポーツに関わる課題について、研究テーマを決め、計画を立案する。	(例) ○スポーツに参加する対象者に応じた理論、実践方法、指導の仕方、安全・健康管理について研究する。				6			
6 7 8	●外部組織と連絡調整を行い、フィールドワークを行う中で、研究を深める。	○スポーツクラブ、企業などへ訪問し、インタビュー等を行う。 ○部活動や地域のスポーツクラブにて指導の実践、評価を繰り返す。				22			
9	●現時点までの研究を中間発表し、最終発表へつなげる。	○ここまでの研究と今後の計画について発表する。				6			
10 11	●収集したデータを分析し、まとめる。	○アンケートや実験データをグラフや写真、動画等ICTを利用し分析まとめを行う。				20			
12 1	●ICT、プレゼンテーションスキルを活用し発表する。	○自らの考えを道筋を立て論理的に伝えることができる。				10			
評価規準	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度				
	①スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解している ②スポーツの推進及び発展に必要な技能を身に着けている		① スポーツの推進及び発展に必要な自他や社会の課題を発見し、思考、判断するとともに、それらを他者に伝えている		① 生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与するための課題研究に主体的に取り組もうとしている				
評価方法	中間、最終発表において、テーマ設定、情報収集、実践等が十分に発展的な学びになっているか。ICTを含むプレゼンテーション、コミュニケーションスキルなどを評価		中間、最終発表において、ICT活用、プレゼンテーション、コミュニケーションスキルなどを評価		出席を評価。課題研究への取り組み方などを観察し、評価する				

授業を受ける上での留意点

<体育>

- 1 実技科目の特性上、出席を特に重視します。遅刻（開始から 20 分以内）は 3 回で欠席 1 とする。
また、各種目 3 回以上の欠席は、評価に関わります。
- 2 病気、怪我等で長期間にわたって授業を欠く場合は、診断書等の提出が必要な場合があるので、教科担任に相談すること。見学については、教科担任に授業前に申し出て、指示を受けること。
- 3 意欲的に活動するだけでなく、準備運動や服装など健康安全についての理解も重視すること。
- 4 上下履きの区別、体育館シューズと上履きの区別、運動のできるジャージの着用等、ルールを守ること。
- 5 施設・用具を大切に使用し、使用後は必ず返却し、清掃等を行うこと。

体育系大学を志望する上での留意点

- 1 新体力テストの記録が必要となる大学もあります。
- 2 スポーツ活動（クラブ活動等）の記録や結果の証明が必要となる大学があります。賞状や新聞記事、公式データなど予め顧問の先生に相談しておいてください。プログラムを保管しておくのも良いです。
受験期に申し出てもすぐには準備できませんし、準備できない可能性もあります。
- 3 国公立大学は大学共通テストを重視、私立大学も二次試験に学科試験を課す大学が多くなっているため、早期から継続的に学習に取り組み、力をつけておく必要があります。
実技の練習は、大学共通テスト終了後から行います。可能性のある生徒は、予め体育科の職員に申し出ておいてください。ただし、基礎的な技能や体力等に関しては各自で継続して行っておいてください。
大学によって種目が異なるので、事前に内容を確認し、競技の特殊性も考え、必ず個人指導を受けて、対策をたててください。

令和6年度シラバス【美術Ⅲ】

長野県伊那北高等学校

科目	美術Ⅲ	単位数	3	授業時間 [総時数]	55分 [96回]	学年	3	学科	普通科
使用教科書	美術3 (光村図書)	副教材等	なし						
学習の目標	美術の諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や文化と深く関わる資質・能力を育成する。								
・具体的な 取り組み ・指導上の 注意点	<p>○スケッチやデッサンなどにより、観察力、思考力、描写力などが十分に高まるよう配慮する。</p> <p>○主題の生成から完成に至る全過程を通して、自分の良さを発見し、喜びを味わい、自己のイメージの実現を果たす。</p> <p>○造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式で捉えることを理解する。</p> <p>○アイデアスケッチで構想を練り、言葉などで考えを整理し、作品について批評し合う活動を取り入れる。</p>								
月	題材・内容	学習のねらい・内容		指導目標		時数			
4	1 文化祭ポスターの制作	・目的や条件を基に、テーマが伝わりやすいポスターを描く。		・人と社会をつなぐデザインの働きについて考え、構想する。		30			
5 6	2 シルクスクリーン	・色彩の効果を考えて版画の技法に親しむ。		・版画の技法の特徴を生かして創造的に表す。					
第1回考査									
6 7 8 9	3 自由制作	・自分で主題を生成し、表現する。		・美術分野において、どんな表現に興味があるのか、自己と対話し探求する。		33			
第2回考査									
9 10 11	4 大学入試対策	・大学入試に向け自分で課題を設定し取り組む。		・自分の進路のために必要な情報を集め、実現を目指す。		33			
第3回考査									
評価規準	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度				
	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めた。意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かに表すことができる。		造形的な美しさ、表現の工夫、美術の働きについて考え、主題を生成し、構想を練り、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができる。		主体的に諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育む。感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を育む。				
評価方法	作品・レポート		作品・レポート・プレゼンテーション		制作に向かう姿勢・提出物・出席の状況				

1. 学習を始めるまえに

美術の内容は鑑賞と造形表現に大別することができます。

鑑賞とは五感を通じて様々のことやものを捉える試みです。これは美術作品ばかりでなく、いろいろなことやものに触れたとき、考えたことや思ったことを言葉にする行為です。それは、ちょっとした心地良さや違和感や発見でも良いのです。自分の受け取った何かを言葉にして発信してみましょう。

造形表現とは自分の考えや思いや感情など、内面に存在するものを何らかのかたちで(作品として)表し、伝えることです。表現とは創造であり、創造とは何かを生み出す行為です。受け身では何も生まれません。自らアクションを起こして自分の可能性を探究し、自らを解き放ち、理想のかたち目指して挑戦しましょう。

美術の学習では、鑑賞(インプット)と表現(アウトプット)のやりとりの中で個性を確立し、自分が唯一無二の存在であることを実感してほしいのです。そして、人間や社会を豊かにする物の見方・考え方、発見や発明、感情や意思の伝達において、鑑賞と表現とそれらの交流が原動力になっていることを学んでほしいです。

2. 美術系大学進学希望者へ

『好きこそものの上手なれ』とにかく造ることや描くことや観ることが好きであれば美大生になる素質はあります。アートやデザインは深く我々の生活に密接しています。生活そのものと言っても過言ではないでしょう。現在、美術系大学卒業生の多くが芸術家やデザイナーやクラフトマン、映像作家、建築家、職人、美術教師、学芸員などとして社会の中で活躍をしています。

美術系大学の入試では学科試験に加え、実技試験が科せられます。実技試験の内容は大学や学部によって様々で異なりますが、かなりのレベルを要求されます。そのため、美大・芸大受験では相当なエネルギーを必要とし、妥協しない美の追究と自分探しの修練とも言うことができます。この美大受験の醍醐味を楽しめた時、きっと次のステップに進むことができるはずです。美大を目指すのであれば、とにかくアクションを起こしましょう。そのことによって、自分に何が必要か自身の作品があなたに語りかけてくれるはずです。美術系大学への進学希望者またはそれを選択肢の一つに考えている人は早めに教科担当者(芸術研究室)に相談に来てください。

令和6年度シラバス【英語コミュニケーションⅢ】

長野県伊那北高等学校

科目	英語コミュニケーションⅢ	単位数	3	授業時間 [総時間]	55分 [96回]	学年	3	普通科	
使用教科書	CAMBRIDGE EXPERIENCE Ⅲ		副教材等	『必携英単語LEAP』（数研出版）、『SKYWARD SKY』（桐原書店） 『共通テスト英語読解トレーニング』（エミル出版）ほか					
学習の目標	国際化が進む社会に生きる地球市民として、仲間と切磋琢磨しながら英語を学ぶことで自らの世界を広げ、バランスの取れた英語の運用能力を高めることで自らの未来を切り拓いていくことを目指す。社会科学、人文科学、科学技術等多岐にわたる英文を読んだり聞いたりする中で内容を理解し、視野を広げ、派生する問題について考察し、自らの意見や考えを英語で書いたり、話したり、議論したりできる。								
具体的な 取り組み・ 指導上の 注意点	(1) 総合的な英語力の向上を目指し、5つの領域(Listening, Reading, Interaction, Presentation, Writing)をバランスよく取り入れた活動に取り組む。 (2) やさしいレベルのものから順を追って大量にインプットし、英語を英語のまま理解できるための素地を作るとともに読解力の向上を目指す。授業・家庭学習を通して自律した学習者を目指す。 (3) 授業ではペアワーク等を積極的に取り入れ、考えながら主体的・協働的に学ぶようにする。								
月	単元名	学習内容	目標	知 技	思 判 表	主 体 的	時 数		
4 ～ 6	Communication Advertising A Better World Our Future Law and Order	社会科学、人文科学、科学技術の各ジャンルに関する題材について、リーディング（精読・速読）・リスニング・要約を中心としたライティング・感想等を発表するスピーキング等を通じて理解する。	精読：文法的解説ができる。 速読：100～120wpmの速度で読み理解できる。 リスニング：文を見ながら初聴で必要な情報取得、話の流れの理解ができる。 ライティング：内容の英文要約並びに英語で感想文が書ける。 スピーキング：他の生徒と題材及びそれに関する事項について簡単な意見交換ができる。	◎ ◎ ○ ○ ○	○ ○ ◎ ◎ ○	○ ○ ○ ○ ◎	28		
6 ～ 9	World Wonders Glorious Food All in the Mind	長文読解演習を通じ、語彙・文法等の知識や技能を活用して大学入試問題程度の英文を理解する。	指定された速読スピードで読んで内容が理解できる。 設定時間で設問に正答できる。	○	◎	○	28		
10 ～ 12	Business Rules Conflict	共通テストレベルの問題に対する解法を探求することで総合的かつスピーディーな英文理解を進める。	設定時間で各自設定した正答率を確保できる。	○	◎	○	28		
1 ～ 2		それぞれの進路目標に合わせた総合的な英語力向上を図る。	各自の目標を設定する。	○	◎	○	12		
評価 規 準	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度				
	英文を理解できる語彙を身につけ、十分な文法・語法の知識があり、英文や英語で書かれた文章を読んだり聞いたりして理解する力がある。		情報・事実・意見を読み取り、理解できる思考力・判断力がある／書かれた内容や自分の考えを自分の言葉でまとめ、伝わるように表現する力をつけている。		自ら背景情報を探り、不足の点を補う努力を成果に結びつけることができる。 積極的に英語を学ぼうとする姿勢がある。				
評価 方 法	考查（定期考查、課題テスト、整理テスト、小テスト等）等		授業中に課された課題・プロジェクト、考查、設定課題への解答内容、提出課題等		ペアワーク・グループワークの取り組み、課題提出や取り組み、授業内での発言、考查等試験範囲への取り組み等				

令和6年度シラバス【論理表現Ⅲ】

長野県伊那北高等学校

科目	論理表現Ⅱ	単位数	2	授業時間 [総時間]	55分 [64回]	学年	3	普通科
使用教科書	FACTBOOK English Logic and Expression III (桐原書店)	副教材等	『POWERSTAGE』(桐原書店)、『STEADY STEPS to Writing 和文分析から始める英作文』(数研出版) [『ランダム演習形式によるクローザー頻出英文法・語法問題』(文英堂)ほか]					
学習の目標	国際化が進む社会に生きる地球市民として仲間と切磋琢磨しながら英語を学び、世界を広げ、特に話すこと[やりとり]・話すこと[発表]・書くことの領域の力を高めることで自らの未来を切り拓いていくことを目指す。基礎となる文法や場面に応じた表現を学びながら、ライティング、スピーキングにおける表現能力を高める。							
具体的な 取り組み・ 指導上の 注意点	(1) 5つの領域の活動を取り入れ、特に英語を話したり、書いたりする発信力を高めることを目指す。 (2) 基本的な語彙や表現の定着を図り、身近な話題について明確に伝わる表現ができるようにする。 (3) ペアワーク等を積極的に取り入れ、協働的に学び、お互いに高め合えるようにする。							
月	単元名	学習内容	目標	知 技	思 判 表	主 体 的	時 数	
4 ～	AIと将来の職業 高校生活での成長 ニュースサービスの利用	ライティングの基本(文章の構造)	型を意識してディスコマーカ、トリックを使った簡単な文が作れる。	◎	○	○	14	
6	3Rと環境保護 キャッシュレス決済	プレゼンテーション、ディスカッション、ディベートの基本(場面に即した発話)	主張を展開する場面に合わせた発話の準備ができ、積極的に話そうとする姿勢がとれる。	○	○	◎	10	
7 ～ 11	食品添加物 日本文化 脱炭素社会 社会的な差別の問題	ライティングの基本(演習) 効果的な表現のための文法力強化	文法を意識して英文を作成することができる。 既習範囲の文法を適切に使うことができる	◎ ◎	○ ○	○ ○	30	
12 ～ 2	英作文演習	大学入試問題程度の日常的な情報文書を読み取る。	WEB,広告等の内容を短時間に読み取ることができる。	○	◎	○	10	
評 価 規 準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度					
	基本的な文章構成を理解しているとともに、文章や会話の内容を理解するための語彙、英文法や構文の知識を身につけている	情報・事実・意見を読み取り、理解できる思考力・判断力がある／書かれた内容や自分の考えを自分の言葉でまとめ、伝わるように表現する力をつけている	授業や家庭学習において目標を持ち、主体的に取り組んでいる／仲間と協働しながら積極的に言語活動に取り組んでいる					
評 価 方 法	考查(定期考查、課題テスト、小テスト等)	授業中に課された課題 考查(英作文)等	ペアワーク・グループワークの取り組み、課題提出、考查等試験範囲への取り組み等					

令和6年度シラバス【プラクティカル・イングリッシュ・スピーキング】

長野県伊那北高等学校

科目	Practical English Speaking	単位数	2	授業時間 [総時間]	55分 [64回]	学年	3	普通科
使用教科書	Vantage Point	副教材等						
学習の目標	テキストの様々なトピックをもとに、地球規模で語られる様々なテーマについて、語彙を増やし、知識を広げ、考えを深めながら、調べたことをまとめて発表したり、議論したりする。							
具体的な 取り組み・ 指導上の 注意点	ALTと協力して、テキストをフルに活用して、生徒が英語で学び、英語で自分の意見を書いたり話したりする機会を増やす。							
月	単元名	学習内容	目標	知 技	思 判 表	主 体 的	時 数	
4	Food and Health	Food and Culture, Diets, Saving Lives	関連語彙を身につけ、関連英文を読み内容を理解し、考えをまとめて発表したり、グループで議論したりする				6	
5							6	
6	Technology	Identity Theft, Digital Learning, AI					6	
7							6	
8	Sports	Professional Athletes, The Olympics, Cheating		○	◎	◎	4	
9							6	
10	Cultural Difference	Attitude, Communication, Time					8	
11							6	
12	Society	Education, Immigration, Gender Differences					6	
1							6	
2	試験対策			◎	○	○	4	
評 価 規 準	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
	トピックに関連する語彙を身につけ、関連する英文の内容を理解することができる。		自分の考えを適切な英語で表現し、理解してもらえる情報発信力を培っている。	自らに必要な力を理解し、それを伸ばすため言語活動などに意欲的に取り組む。				
評 価 方 法	授業、定期考査		発言、質問、発表、ディスカッション 定期考査	発言、質問、発表、ディスカッション 定期考査				

令和6年度シラバス【Practical English Writing (プラクティカル・イングリッシュ・ライティング)】

長野県伊那北高等学校

科目	Practical English Writing	単位数	3	授業時間 [総時数]	55分 [96回]	学年	3	学科	普通科
使用教科書	自分の力で書く大学入試 英作文 FINAL DRAFT	副教材等							
学習の目標	様々なライティング活動を通じ、文章の構成を意識しつつ、発想力や表現力が豊かで、纏まりのある文章が書けるようになる事、又プレゼンテーションやインタビュー等を通じて、自分の書いたものをきちんと発信出来る事を目標とする。								
具体的な 取り組み・ 指導上の 注意点	毎時間10分間の自由作文(ジャーナルライティング)を行い、英語を書く事に慣れる。年間の導入に大学入試問題を用い、様々なタイプの英作文の存在を意識させる。要約やパラグラフライティングの基礎を学び、エッセーを書いてみる。又ディベートの基礎を学び、理論的且つ批判に耐えられる纏まりのある文が書ける様にする。更に入試問題の過去問を扱いながら添削を繰り返し、より実戦的な自由英作文能力を高めていく。								
月	単元名	指導目標	学習内容			備考	時数		
4 5 6		多様なライティングに 取り組む	課題文(英語)要約、会話文要約、自由英 作文など				28		
第1回考査									1
6 7 8 9		パラグラフライティン グ導入	スキットやテレビコマーシャルの作成 グループワーク、プレゼンテーション オピニオンライティング1 オピニオンライティング2				8 8 7		
第2回考査									1
9 10 11		論理的な文章作成	オピニオンライティング3 ディベート				12 12		
第3回考査									1
12 1 2		問題演習	自由英作文能力作成			入試ライティング 教材や過去問	18		
評価規準	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
	自由作文に必要な、論理的な文章構成を作成する技能を身につけている。		授業で学習したことを、ペアワークやプレゼンテーションといった言語活動の際に取り入れ、自らの表現に活かす。			自分が伸ばすべき力を把握し、自由英作文やディベートのような活動に目標を持って取り組む。			
評価方法	自由英作文 課題 定期考査		自由英作文 プレゼンテーション 定期考査			自由英作文 発言、ディベート 定期考査			

令和6年度シラバス【英語探究】

長野県伊那北高等学校

科目	英語探究	単位数	3	授業時間 [総時間]	55分 [96回]	学年	3	普通科
使用教科書	Cutting Edge (Blue) CNN Workbook Extended Course 2024	副教材等	なし					
学習の目標	物事を多角的視点から探究、分析し、それに基づく情報を英語で発信出来る様にする為、その基盤となる多くの分野、領域に及ぶ発展的な英語題材の読解力を向上させる。併せて、生きた英語に対する感受性を高めリスニング力を高める。							
具体的な 取り組み・ 指導上の 注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・実社会に関する題材を含め、多分野・多領域に及ぶ英語題材（教材）の読解、リスニング演習を行う。 ・情報を理解し、発信する力の元となる4技能の総合力を養成する為に問題演習を行う。 ・情報発信の為に、作文演習を行う。 							
月	単元名	学習内容	目標	知 技	思 判 表	主 体 的	時 数	
First step								
4 ～ 6	Cutting edge(Blue)Ch1~6 CNN 1~6	生命化学 社会学 異文化理解	パラグラフリーディングによる入 試英文解釈の力をつける	◎	○	○	24	
Second step								
7 ～ 9	Cutting edge(Blue)Ch7~10 CNN 7~14	社会問題 環境問題 プレゼンテーション	英文読解力向上 調べ学習と発表活動の試みをする	○	○	◎	24	
Third step								
9 ～ 12	Cutting edge(Blue)Ch12~18 CNN 15~20	社会問題・/調べ学習 プレゼンテーション	英文読解力向上 発表活動の精度をあげる	○	◎	○	24	
	入試過去問題	科学・社会・経済・医療・環境・異文 化理解等広範囲にわたり、 600words~700wordsの英文を読み、設 問を解く	難関国公立大、私立大レベルの難 易度の英文読解力を完成させる。	○	◎	○	24	
評 価 規 準	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
	本的な文章構成を理解しているとともに、論理的に文章を読解するための英文法や構文の知識を身につけている。		読み解いた英文を自分の言葉でまとめ、自分の視点から解釈し、表現するなど、情報発信力を培っている。		英文を通して取り扱われる題材について、自分なりの観点を持って探究する。			
評 価 方 法	小テスト・定期考査		ワーク・定期考査		発言、質問 調べ学習 定期考査			

令和6年度シラバス【ライフデザイン】

長野県伊那北高等学校

科目	ライフデザイン	単位数	2	授業時間 [総時数]	55分 [64回]	学年	3	学科	普通科
使用教科書	家庭基礎 自立・共生・創造	副教材等	Super Live View 家庭科 資料+食品成分表成分表 家庭基礎 学習ノート						
学習の目標	生活の営みに係わる見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指す。1年次家庭基礎で培った学習の応用的・発展的な取り組みとする。								
具体的な 取り組み・ 指導上の 注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、社会との関わりについて理解する。 ・社会における生活の中から問題を見だし理論的に表現し、課題を解決する能力を養う。 ・調理実習や衣生活実習などを行い、仲間と協働し主体的に創造する実践的な態度を養う。 ・定期考査を利用して、学習の自己評価を行う。 								
月	単元名	指導目標	学習内容			備考	時数		
4 5 6 7 8 9	家族・社会との共生生活の自立	人の一生と家族・家庭及び福祉について基礎的な理解を図り、係わる技能を身につける。家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見だし課題を設定し、解決策を構想、表現し、解決する力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分らしい人生をつくる ・子どもと共に育つ ・衣生活をつくる 			絵本実習 保育実習 調理実習	31		
第2回考査									
9 10 11 12 1 2 3	生活の自立	人の一生と衣食住、消費生活、環境などについて基礎的な理解を図り、係わる技能を身につける。家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見だし課題を設定し、解決策を構想、表現し、解決する力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活をつくる ・衣生活をつくる ・住生活をつくる ・消費生活を営む 			調理実習 衣生活実習	32		
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度				
	生活の営みに係わる基礎的な知識と技術を身につけている。	生活の営みに係わる見方・考え方を働かせ、見通しをもって課題を設定し、解決策を構想し、根拠に基づいて理論的に表現している。			様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて地域社会に参画しようとするとともに、自分の家庭、地域生活の充実向上を図ろうとする実践しようとしている。				
評価方法	レポート 復習テスト 定期考査	レポート 定期考査			発言・質問 レポート 定期考査				